

研究実施のお知らせ

2025 年 5 月 2 日 ver.1.3

研究課題名

クッシング病・クッシング症候群におけるコルチゾール値と凝固機能の関係

研究の対象となる方

1996 年 6 月から 2025 年 1 月の間に島根大学医学部附属病院でクッシング病・クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群と診断された方

研究の目的・意義

クッシング病・クッシング症候群では、血中コルチゾール値の上昇により、血管内に血栓（血の塊）ができやすく、深部静脈血栓症などの発症リスクが健常者と比べ約 4 倍高いことが報告されています。また、サブクリニカルクッシング症候群においても血栓症のリスクが高いと言われています。その病因となる凝固異常について、血中尿中コルチゾール値と、PT(prothrombin time)、APTT(activated partial thromboplastin time)など凝固に関わる血液検査での指標との関係性を調べます。血中尿中コルチゾール値・血中 ACTH(adrenocorticotrophic hormone)値と凝固機能の関係性を調べることで、クッシング病・クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群の方々の深部静脈血栓症の発症を防ぐことにつながります。

研究の方法

島根大学医学部附属病院入院中または外来通院中に検査した採血採尿結果の情報をカルテから収集します。カルテから収集した、血清尿中コルチゾール値・血漿 ACTH 値・1 mg および 8 mg デキサメサゾン抑制試験後の早朝コルチゾール値と、血液凝固機能に関わる PT・APTT・D-dimer・フィブリノーゲン値との間に関連があるかどうかを統計学的に調べます。また、血液凝固機能はクッシング症候群に伴う肥満や肝障害、インスリン抵抗性の影響を受ける可能性があり、肥満度や糖脂質代謝（血糖・HbA1c・インスリン値・中性脂肪・LDL-C）、肝機能（AST・ALT・LDH）と血液凝固機能との関連性も調べます。収集した情報の識別は研究用に付与する登録番号によって行い、登録番号と氏名の研究対象者リストは収集データとは別に内科学講座内科学第一の講座内にて保管します。

本研究に携わるすべての研究者は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。

研究の期間

2025 年 2 月（研究許可後）～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、2025 年の内分泌学会で公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 内科学第一

参加研究機関

〔研究機関〕

島根大学医学部附属病院

〔研究責任者〕

小川典子

情報の利用停止

ご自身の採血結果情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 8 月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 小川典子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650